

刊夕 日六十二月六



日刊休日 日曜祭日 日休一ヶ月廿五日 郵税十五銭 一部二銭 廣告料 一行四十銭 發行所 平野印刷 牛谷政喜 新刊 新刊 新刊

常識講座

シリーズとはつゞきも 出たことだ、例へば透 次出版される『透きま たは全果の類、次から 次に出る『透きま』の 透きまを指し、野球など の透きまを同じくシリ ーズと呼ぶべからぬ

好成績を上げてゐるが本年 至二四四四の相場である引 續いて来る七月三日第二回 の 漸く収穫を上げたので昨二 十五日農會の幹事で東京市神 田市場に第一回の共販出荷 (不順のため作柄が悪く二割以 上を減収である)

梅の共同出荷 七月一日植田から 石城郡南藤野多分部に於ける 梅の共同出荷は来る七月一日 植田から発送されるが十貫 目入り六百俵に上る見込みで ある

市制施行準備の 調査部長會議

最後に於て縣の應援を受け 年内に實現したい意向

平町の市制施行準備調査部長 會議は明二十七日午前十時から 町役場に開催の筈であるが目 下合併交渉の順調に進んでゐ るものは平窪村で尙ほ最近平 窪村に接する赤井村の一部落 が合併を希望しつゝあるなど 飯野及び神谷の兩村も漸次合 併に接近してゐるので最後に 於ける案の解決に容易ならぬ 場合は縣から總務部長の應援 を受けて出來得るならば本年

高値を押へた政府米

小賣白米の食味下落

今日までの到着一萬三千二百俵 穀屋が使用混合米の手品

本年の米價高は殊に労働者階 級を悩ましてゐるが立米一俵 十二圓七十銭は事實殺人的の 相場であつて昨年の六月に於 ける最高十一圓十四銭、最低 十圓九十二銭に比して一圓六 七十銭高であるものに勞銀は 依然として之れに伴はず此の 上の米高を氣遣はれてゐたと ころ政府押下げ米の移入で緩 和され昨今一俵に付き六、七 錢安を唱ひられるに至つたが 右の政府米は平窪到着のもの まで本月四日以來今二十六 日まで八百三十噸俵換算一 萬三千二百四十八俵に達して

四組合で六百株

東北振興二大會社の應募株 平、江名、小名濱、四倉で

平町庶民金庫に於て東北振興 二大會社の應募株につき昨二 十五日役員會を開催せるは昨 紙にも報じたが役員の打合せ では二百株 (興業一〇〇電力 一〇〇) を引受けることにな つた尙ほ石城郡下では江名産 業組合にありても同様二百株 を應募する模様で小名濱、四 倉の組合相當の株を引受ける ものゝ如くであるから右四ヶ 町に於て五六百株に達するで あらうと

特戸賦課決定の 平町會

議案調査の爲め 廿七八日休會

平町では今二十六日午後一時 から特別戸數割賦課決定を 他に關して町會を招集した が寄附採納と専決事項 (町債 の安利率替へ) は一週千里に 達しし時戸割については議案 調査の爲め二十七、八日兩日 を休會二十九日から委員會と なる模様で本會は多分委員會 から一、二日後となるであら うと

閉所式

九品寺託児所 来る二十八日 延人員七二〇

平町の九品寺では例年の如く 去る十七日から十二日間農繁 期の託児所開設中であるが 毎日六十名づゝの男女幼児を 慈愛として終日させ父兄側か ら感謝と喜びを受けてゐるが 来る二十八日午後二時閉所式 を上げる筈で本年の託児延入 員七百二十人に達した當日は 町役場及び町内有志並に父兄 側も出席午後三時左記幼児の 唱歌と遊戯がある

共販出荷

植田から昨廿 五日東京へ二車 石城郡農會では郡内植田町方 部に昨年から蠶豆栽培を奨励

平町外二ヶ村の 水害豫防組合解散

式の舉行方法その他に就き 明廿六日總會を開く

平町外二ヶ村の水害豫防組合 度等を協議の筈であるが解散 は新川の縣支辨編入で解散の 決定には千、七八百圓資金 整理中であるが右を完了明二 日を見るものゝ如くであつて多 十七日午後一時から平町會 議分記念品等を贈ることなる 事堂に總會を開き解散式を舉 行する方法及び催しの範圍程 であらうと

平驛六月の貨物 發着共に増加

激減したのは繭の發送 上中旬で一六七圓増収

平驛に於ける今六月の貨物は 輻輳した同發送は僅かに七ト ン以上政府押下げ米の大量 上旬に止まり米の到着は昨年當 期と中旬に入り時期物の 期に於て二百十四噸 (六月中) 到着と中旬に入り時期物の 期に於て二百十四噸 (六月中) ビール其の他清涼飲料の荷荷 が増加し發送では木材、鐵屑 約約三百噸を合せて既に八 木炭の類に賑はひ上旬の取 扱ひ高は左記の如く發着收入 共に前年同期に比して増加し てるが會て繭の出廻り期に

愛谷 江開 恩人

水守が判るまで 後裔を探る史的根據を 得る迄の裏面の苦心者

第十一日目の 四倉市場

平均 白四六圓七〇銭 黃四九圓三〇銭

平町外二ヶ村の水害豫防組合 度等を協議の筈であるが解散 は新川の縣支辨編入で解散の 決定には千、七八百圓資金 整理中であるが右を完了明二 日を見るものゝ如くであつて多 十七日午後一時から平町會 議分記念品等を贈ることなる 事堂に總會を開き解散式を舉 行する方法及び催しの範圍程 であらうと

水戸事務所管内 軟式野球大會 水戸運輸事務所管内の軟式野 球大會は來月三、四日頃水戸 市水府グラウンドに於て開催さ れるが平窪道からは曙及び機 關庫の各一チーム及び保線、 車掌、檢車所を以て混成する 一チームの三チームであると

其の後裔であることに一點の 疑ひなきを確かめ前記三森家 を招して本春報告會を兼ねた 臨時大會を夏井村に於て執行 されたが組合では更に所記の 三森家が傍系であるところか ら直系を發見すべく努力中で あつたところ之れを最近に 至つて當時台灣台北州台北市 末廣町三丁目二番地元小學校 教員三森徳一郎氏が其の人で あることを確め得たので夏井 村大字山崎の高燥地に建設す

幼女の溺死

石城郡赤井村の鹽田農者松定 猪六女は(四)は昨二十五日 午後三時頃居宅附近の夏井川 に溺死して下流小川橋下 に漂着なし居るを通行人が發 見届出でと同時に平窪から柴 警部補出張檢視した

今夜は南の風、雨 明日は南の風、一時曇驟 雨模様 (小名濱測候所)

青果市況 平中央青果卸市場(調) 青物 高値 安値 玉葱(一貫) 三〇〇 馬鈴薯(一貫) 二〇〇 玉葱(一貫) 三〇〇 サヤ豆(一貫) 四〇〇 胡瓜(一貫) 二〇〇 京菜(一貫) 一〇〇 胡瓜(一本) 一〇〇 牛蒡(一貫) 一〇〇 夏葱(一貫) 一〇〇 夏葱(一貫) 一〇〇 ナタ豆(一貫) 一〇〇

其の後裔であることに一點の 疑ひなきを確かめ前記三森家 を招して本春報告會を兼ねた 臨時大會を夏井村に於て執行 されたが組合では更に所記の 三森家が傍系であるところか ら直系を發見すべく努力中で あつたところ之れを最近に 至つて當時台灣台北州台北市 末廣町三丁目二番地元小學校 教員三森徳一郎氏が其の人で あることを確め得たので夏井 村大字山崎の高燥地に建設す

農業方面

生産者の 鶏卵常識 (八)

種鶏場の超沼生 政府に於ては畜産共同施設 奨励規則により鶏卵の共同 処理奨励施設が公布せられ 処理及び器具機械等に對し て相當の奨励金をも交付さ れるやうになつたのであり ます。

大正十四年より昭和九年ま でに二百五十三個体が交付 を受けて居り其の金額は十 八萬圓以上であります。此 れ等の成績を見るに何れも 良好で鶏卵の商品價値の向 上を示して居りますがまだ まだ改善を要する點も多々 あるのであつて養鶏組合中 央會では此れ等の出荷に就 て鋭意指導に努め各組合 に對し一定の規格をなまし めると共に荷造り鶏卵批判 會等まで開き此れ等鶏卵の 商品價値の向上に努めつゝ あるのであります。斯くの 如くして鶏卵の商品價値は 鶏卵共同處理の下に鶏卵の 共同出荷に基づくことによ り向上して來たのでありま す。今後はますます養鶏組 中央會と聯絡をとり發達の 遺憾なきことを望む次第で あります。

(ロ) 鶏卵検査、鶏卵は重要 物産の一つで商品として貴 重なるものであります。こ れが市場價値は前述の共同 處理と相まつて嚴重に行は ねばならぬものでありま す。若し折角の鶏卵を荷造 して市場に出荷しても卵の 検査或は選別が充分でなけ ればならぬ。

牛も豚も優良品の自慢
肉の御 用命は **三三三屋** 平町 田町

夏ノ流行洋品
麥一文字帽
パナマ帽子
春雨 兼用 絹傘
流行パラソル
ツルヤ 電一四〇

車動自枢靈 具祭葬佛神 花造術美 環花甲慶
橋本屋 平町新川町 電一六三



新築落成
營業開始
大衆奉仕を 念願とし社會中層の 御相手旅館としてや よひ館の名の許に愈々六月六日より營業を 開始する事に致しました。

眺望並に清新 色なく旅の御疲れを 慰むるに適當な處と存じます。

室賃を主とし 經營致します故御食 事は御自由ですがお 望みに依り差上げる設備もありません。

茶代は勿論申受けません
何卒御引立の程を願ひます

平郵便局前通り【電話七六番】
館主 植野セツ

平町南町五二 電話三四番
根本産科醫院
婦人科
手術室完備 根本莊次郎
入院隨時 根本貞雄

内科、小兒科、花柳病科、耳鼻咽喉科、レントゲン科
平町田町 電話五二三番
高久病院
院長 醫學士 高久忠

支店開設御披露
本店 末廣 (平町・田町)
支店 小名濱町公園地内
鳥料理 はまや 小名濱公園 電話二〇〇番

高臺閑靜 眺望絶佳
どうぞ本店同様 御引立を願ひます

レストラン **サロン** 電三五二

しづかに	食事の	出る
る	食	堂
正	しい	喫茶
正	しい	酒場
正	しい	酒場

スペインG・H・N 元詰
ゴルフポートワイン
甘味葡萄酒 1・10
婦人の方には少し水を加へて 召し上ると風味一そう佳良です

(平2) 西村屋薬舗 (電3)

内臓外科 レントゲン科
北川外科
平町新川町 (諸橋醫院跡)
醫學博士 北川芳夫
小林良次 電話四六四番

(血液検査毎日) イツデモ 入院出来マス

亞鉛鍍金所 開業
來ル六月一日ヨリ平町字大町五番地ニ亞鉛メッキ所ヲ新設致シマシタ 何卒宜敷御引立ノ程御願ヒ申上ゲマス

在來ノ電氣メッキ法デハナク耐久力ノ 強ク溶解メッキ法デアリマス。

主ナル 漁業器具、船舶、水道、鑛山建築 等デ 需用 鐵道、電氣等ノ諸物其ノ他一般雨 方面ハ 水、海水、濕氣アル箇所ノ鐵材類 マス

福島縣平町大町五番地(呼)電六三三番
大洋亞鉛鍍金所
所主 高木秀次郎

金銀和洋 金銀洋
良品廉賣
質之低 質之高
茶屋商店

債券 公債 両替 金融
平町大工町 電話五九一番
多田井質店

諸機械並 一般鑄物
タービン ポンプ
平町七丁目 電話七十二番
山田鐵工所
山田親 敬